

独立自尊

上記の校訓は福沢諭吉が、自身の著書の中で、自らが大切にしている考えをわかりやすく表した言葉です。人を頼らずに自己の人格と尊厳を保つことの大切さを表す言葉として時代を超え、今に生きています。

本校が目指すグローバルリーダーの育成において大切な精神であると考え、これまで高校の校訓として長く大切にしてきた言葉を中等部でも受け継ぎ、中高共通の校訓としています。

基本理念

郷土や国家を支える高い志と

国際的な視野を備えたグローバルリーダーの育成



秋田県立秋田南高等学校・
秋田県立秋田南高等学校中等部

志を高く！



校長 藤澤 修

本校は今年で創立64年目を迎えます。これまでの卒業生は2万2千人あまりにのぼり、学業、文化、スポーツなど多方面にわたって活躍しております。

また、平成28年4月には中等部が併設され、今年3月には中等部で学んだ4期生が本校を巣立ちました。中高一貫教育校としては、今年度で10周年を迎えることになります。

本校では、高い志を貫き夢の実現に向けて主体的に取り組む態度を育むとともに、ふるさとや世界に貢献する「グローバル・リーダー」としての資質・能力の育成を目指しております。

「グローバル・リーダー」とは、人種や性別、言語などにとらわれずに、多様な価値観を受け入れ、広い視野と知見で物事を的確に捉え、判断することができる優れた人間性を有するものであります。

このような人材を育成するために、日頃から授業を中心とした教育活動の質の向上に努めているところです。特色ある取組として中等部では、1年生から中高教員が協力し、表現力を高めるための「J Eコミュニケーション」や、3年生を対象にした探究活動である「クリエイティブ・サイエンス」を実施しております。

また、高等学校では、中等部での探究活動をさらに進化させた「国際探究」、「総合探究」、「学術探究」を実施するなど、段階的に探究的な学びの充実を図っており、このような活動を通して、生徒一人一人の資質・能力の向上に努めております。

この学校案内には、紙面の関係で活動の全てを掲載することはできませんが、特徴的な活動を掲載しております。さらなる情報につきましては、本校HPや学校説明会等がございますので、参照・参観をお願いいたします。

皆さんがこの秋田南高等学校と秋田南高等学校中等部で志を高くもち、自らの可能性を信じ、夢の実現に向かって頑張ってくれることを期待します。

中高一貫教育校としての特色

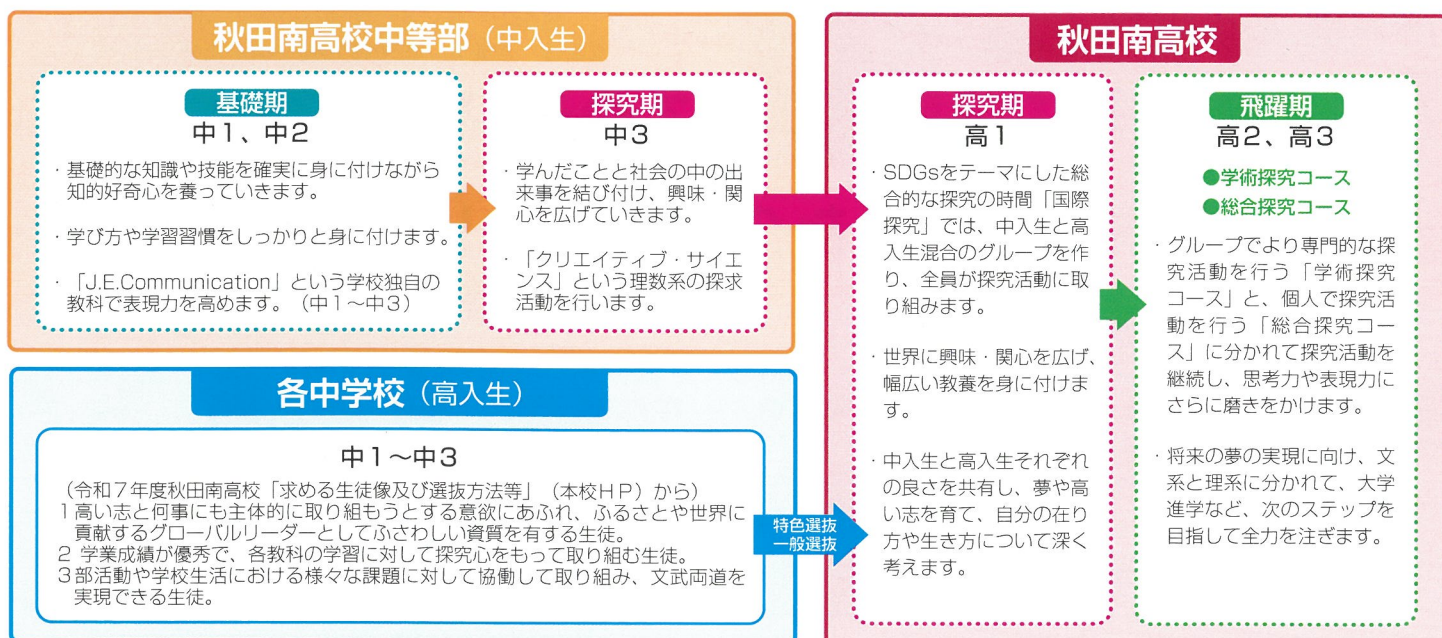
本校は併設型の中高一貫教育校で、中等部入学生（中入生）は6年間、高校入学生（高入生）は3年間を過ごします。

中入生は、6年間を基礎期、探究期、飛躍期の3つのステージに分け、成長段階に応じた探究的な学びを通して、自らの将来を見つめ、その実現に向けて個性や能力を伸ばします。

高入生は、それぞれの中学校で育んだ多様な力や、高校入試を経て身に付けたたくましさを生かしながら、探究期後半と飛躍期に中入生と一緒に学びを広げ、深め、自分の力をさらに伸ばします。

様々な学習活動や行事、部活動等で、日頃から中等部生と高校生が交流を行ったり、中入生と高入生が互いの良さを認め合って切磋琢磨したりして、早くから高い志をもって学校生活を送り、豊かな社会性や人間性を育みます。

■ 中高の6年間を見通した学びの流れ



学校行事

1年間の主な学校行事

【中等部】				【高 校】	
前 期	4月	前期始業式 入学式 学力推移調査Ⅰ 秋田市春季大会 全国学力テスト(3年)		4月	前期始業式 入学式、対面式 創立記念日 生徒総会
	5月	宿泊学習(1年) 生徒総会		5月	中央支部総体
	6月	第1回定期考査 秋田市の中総体 秋南祭	6月	全県総体 第1回定期考査 秋南祭	
	7月	秋田県中総体 学力テスト①(3年) 夏季休業	7月	総合探究(高3) ：代表成果発表会 夏季休業 夏季補習	
	8月	学級対抗		8月	学術探究(高2) ：アカデミックツアー 夏季補習 実力テスト 学級対抗
9月	宿泊学習(2年) 第2回定期考査 学力推移調査Ⅱ オープンスクール 秋季休業	9月		第2回定期考査 秋季休業	
後 期	10月	後期始業式 運動会		10月	後期始業式 運動会 学術探究(高2)：公開成果発表会
	11月	合唱コンクール 第3回定期考査		11月	修学旅行(国内・海外) 国際探究(高1) ：班別フィールドワーク 第3回定期考査
	12月	県学習状況調査(1・2年) 学力テスト②(3年) 冬季休業	12月	冬季休業 冬季補習	
	1月	学力推移調査Ⅲ CS発表会(中3)	1月	実力テスト	
	2月	第4回定期考査 修学旅行(3年)	2月	第4回定期考査 国際探究(高1)：成果発表会 「獨立自尊」月間	
	3月	卒業式 チャレンジテスト(3年) 修了式 春季休業		3月	卒業式 修了式 春季休業、補習
				2月 修学旅行(中) シンガポール	



4月
入学式(中高)



6月
秋南祭(中高)



10月
運動会(中高)



2月
修学旅行(中)
シンガポール

学校生活

多様な学校生活から、自分の夢を見つけかなえよう

本校は、平成28年度から中高一貫教育校に移行し、中等部生約240名(学年各3クラス)と高校生約670名(学年各6クラス)が一つの校舎で共に学んでいます。高校1年生は、本校中等部から入学した2クラスと、他の中学校から入学してきた4クラスの6クラス構成です。中・高共に生徒会活動や部活動なども活発で、多様な学びの場があるのが南高の特徴です。

校地内には、野球場、多目的運動場(サッカー場・ラグビー場)、陸上競技場、屋内練習場、テニスコート、アーチェリー場があり、柔道場、剣道場を含め部活動の練習場所は豊富です。また、体育館は中等部に新設されたアリーナを含め3カ所あり、音響効果を計算してつくられた音楽室、設備の整った実験室などもあり、部活動や授業に活用しています。



中 等 部

■ 学び… 表現力や問題解決能力を育てる多様な学習

あなたの「学びたい」に応えます

■ 各教科における発展的な学習

- ・中学校の学びを広げ深める、高校の内容を取り入れた学習

■ 英語で討論できる力の育成を目指す学習

- ・英語や国語に関連する学校独自の教科設定
(例：中1～3【J.E.Communication】)

【学校独自の教科①：J.E.Communication】

日本語や英語を使ってコミュニケーションを行う方法について学びます。日常の会話やディスカッション、ディベートなど、様々な活動を通して表現力を高めます。

■ 国際的な教養や問題解決能力を育てる学習

- ・各教科の学習や総合的な学習の時間、特別活動における、グローバルな課題の解決をテーマにした探究的な学習

■ 中高の先生が連携した指導

- ・基礎・基本の定着や、個に応じた指導の充実
- ・中高教員それぞれの持ち味を生かした指導

■ 科学的に考えたり表現したりする力を身に付ける学習

- ・数学科において標準を上回る時数を設定
(例：中学2年数学科→週4時間)
- ・数学科、理科に関する学校独自の教科設定
(例：中3【クリエイティブ・サイエンス】)

【学校独自の教科②：クリエイティブ・サイエンス】

自分が興味をもった、数学や理科に関する課題について、解決の方法を探りながら研究を進めます。研究成果をまとめ、発表する活動を通して、表現力を高めます。



■ 高校生や仲間と学び合う機会

- ・中高合同の行事や学習会など、異年齢間での学び合い
- ・海外連携校とのオンラインでの交流活動や留学生との交流など、多様な国際交流の機会

■ 中等部 教育課程表（令和7年度）

1年	国語 4	社会 3	数学 4	理科 3	音楽 1. 3	美術 1. 3	保健体育 3	技術・家庭 2	英語 4	道徳 1	総合 1. 4	特活 1	J.E. 1	週30時間 (標準は週29時間)	
2年	国語 4	社会 3	数学 4 (標準は3)	理科 4	音楽 1	美術 1	保健体育 3	技術・家庭 2	英語 4	道徳 1	総合 2	特活 1	J.E. 1	週31時間 (標準は週29時間)	
3年	国語 3	社会 4	数学 4	理科 4	音楽 1	美術 1	保健体育 3	技・家 1	英語 4	道徳 1	総合 2	特活 1	J.E. 1	C.S 1	週31時間 (標準は週29時間)

※J.E.:J.E.Communication ※CS:クリエイティブサイエンス

■ 生活… 健全な心身を育む生活の指導

■ 「中学生」としての生活規律を養う

- ・制服は高校に準じたスタイルです。
中高の違いは、学年ごとのバッジ、クラス章です。中等部生は名札をつけます。
また女子制服は高校生がネクタイ、中等部生がリボンです。
- ・スマートフォン等の使い方、自動販売機の使用については中高に応じた決まりを設定して指導しています。

■ 自作作成の温かな給食

- ・中等部生には本校の調理室で作られた温かな給食が提供されます。
本校の栄養教諭がアレルギー対応等に留意しながら献立作成をしています。
食育とともに、和やかなひとときもなっています。

■ 日課表

～8:20	登 校
8:25	朝の会
8:40 ～ 12:30	午前の授業 (50分の授業) 1～4校時
12:30～	給食・昼休み
13:25 ～ 14:15	午後の授業 (50分の授業) 水: 5校時
15:15	月・金: 5～6校時
16:15	火: 5～7校時 木: 5～6校時(1年) 5～7校時(2・3年)
	帰りの会、清掃、下校

高等学校

■ 教育内容… 探究を重視する教育、多様な大学進学に対応する教育課程

高校の3年間の授業は大学受験に直結するとともに、将来の学習の土台を育みます。本校の教育課程は多様な大学入試に対応しており、生徒が探究的な活動に取り組むことで、自らの学びのスタイルの確立を目指すキャリア教育を推進しています。「知識を応用する力」「互いに尊重し合い、ともに探究・創造する力」を授業を通して身につけることで、新しい大学入試に対応するとともに、海外大学への進学にも備えます。

■ 自分の将来を考えた文理選択

- ・選択のための活動は1年生から [大学調べ／学部学科ガイダンス]

■ 多様な大学進学を実現するための教育課程

- ・理系：医学部、理学部、工学部などへの進学を目指す系列 [数学、理科を多く学習]
- ・文系：法学部、文学部、商学部などへの進学を目指す系列 [国語、地理歴史・公民を多く学習]
- ・文理どちらにも重要な英語の学習の充実 [少人数の授業]

■ 探究的な活動の充実

- ・週1時間の総合的な探究活動の時間 [大学教員・地域の方々・卒業生からの講演／フィールドワーク／プレゼンテーションスキルの向上]
- ・探究活動を深めるための「学術探究コース」 [2年生でおもに週2時間の探究活動／アカデミックツアー]

■ 高等学校 教育課程表（令和7年度入学生）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
高1	中入生	現代の 国語	言語文化			地理 総合		歴史 総合		数学Ⅰ	数学Ⅱ			数A			化学 基礎	生物 基礎	体育			保健	芸術Ⅰ		家庭 基礎	英語コミュニケーション Ⅰ			論理・ 表現Ⅰ		LHR	国際 探究			
	高入生									数学Ⅰ			数Ⅱ																						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
高2	理系	総合探究 コース	論理 国語	古典 探究	公共	地理探究／ 日本史探究		数学Ⅱ・数学Ⅲ (高入：Ⅱ3単位、Ⅲ1単位) (中入：Ⅱ2単位、Ⅲ2単位)			数学 B	数学 C	物理 基礎	化学	物理／ 生物		体育			保健	情報Ⅰ		英語コミュニケーション Ⅱ			論理・ 表現Ⅱ		LHR	総合 探究						
	学術探究 コース	学術探究																																	
	文系	総合探究 コース	論理 国語	古典 探究	公共	世界史 探究		地理探究／ 日本史探究			数学Ⅱ			数学B	数学 C	地学 基礎	体育			保健	情報Ⅰ		英語コミュニケーション Ⅱ			論理・ 表現Ⅱ		LHR	総合 探究						
	学術探究 コース	学術探究																																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
高3	理系	総合探究 コース	論理 国語	古典探究		地理探究／ 日本史探究		数学Ⅲ		数学 B	数学 C	探究数学 (学校設定科目)			化学			物理／生物			体育			英語コミュニケーション Ⅲ			論理・ 表現Ⅲ		LHR	総合 探究					
	学術探究 コース	学術探究																																	
	文系	総合探究 コース	論理国語		古典探究		地理探究／日本史探究／ 世界史探究／ 総合公民(学校設定科目) から2科目選択			発展数学 (学校設定科目)			地学 基礎	発展生物 基礎 (学校設定 科目)		体育			英語コミュニケーション Ⅲ			論理・ 表現Ⅲ		LHR	総合 探究										
	学術探究 コース	学術探究																																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34

文系科目

理系科目

英語科目

総合的な探究の時間

■ 文系科目 ■ 理系科目 ■ 英語科目 ■ 総合的な探究の時間

■ 進路… 高い志を貫く

■ 卒業生の進路状況（令和7年3月卒217名）

進学197名 就職3名

四年制大学合格者（延べ） 国公立大学144名 私立大学192名

【令和7年3月卒業生のトピックス】

- ◇東京大学 2名 合格
- ◇医学部医学科 3名 合格（秋田大学、弘前大学、自治医科大学）
- ◇国際教養大学 4名 合格
- ◇難関大学の合格者数増加（北海道大学、東北大学、名古屋大学、大阪大学、慶応義塾大学、早稲田大学、上智大学、東京理科大学、防衛医科大学校 他）

■ 主な進学先

【国公立大学】

東京大学 京都大学 北海道大学 東北大学 名古屋大学 大阪大学
千葉大学 国際教養大学 秋田大学 筑波大学 新潟大学
防衛医科大学校 他

【私立大学】

慶応義塾大学 早稲田大学 明治大学 法政大学 立教大学 中央大学
上智大学 東京理科大学 自治医科大学 他

■ 日課表

校時	時間	曜日	月・火・木	水・金
	8:20		登校	
	8:25～ 8:35		SHR	
1～4	8:40～12:30		【50分授業】	
	12:30～13:25		昼休み	
5～6	13:25～15:15		【50分授業】	
7	15:25～16:15		【50分授業】	*

清掃、下校

* 2年生の学術探究コース選択者のみ
水曜日7校時「学術探究」

探究活動（SGHネットワーク）

世界や地域の課題解決に挑む

本校は、平成27年度より5年間、文部科学省指定スーパーグローバルハイスクール(SGH)指定校として、また令和3年度より、同じくSGHネットワーク事業参加校として、グローバルな社会課題などの解決について考える探究活動を行っています。

探究活動とは、各教科の知識・技能を活用しながら、自ら課題を見つけ、解決に向けて主体的・協働的に考える学習活動です。秋田南高校では、この活動を通してグローバルリーダーに必要な資質・能力を育てるとともに、特に「学術探究コース」では、英語による研究発表を行い、英語コミュニケーション能力の伸長も図っています。こうした取組は、全国規模の発表会や、シンガポールで行われた世界大会で最高賞を獲得するなど、成果を挙げています。



Global Link Singapore 2017にて最高賞受賞



課題解決に向けた発表を英語で
(市内公共ホールにて)

県内外の大学や行政機関など、さまざまな外部機関と連携し、サポートをいただきながら、探究を深めています。

- ・県内唯一のSGHネットワーク事業参加校として、毎年「全国高校生フォーラム」に出場。
- ・京都府教育委員会と連携して、京都府など全国の高校生や、オーストラリアなど海外の高校生と行うオンライン国際会議「京都府WWL高校生サミット」に参加。
- ・秋田県立大学と「探究的な学習に関する協力連携協定」を締結しており、大学の教員から専門的指導をいただいて探究活動を推進。
- ・秋田県教育委員会「オンライングローバルラーニングプロジェクト事業」指定校として、県内の指定校4校で連携した成果発表交流会をオンラインで実施。
- ・秋田市と連携して、市職員や起業家など地域の社会人と研究テーマについて意見交換し合う「グローバル・ミーティング」を開催。
- ・卒業生たちによる自主団体「秋田南GSO (Graduate Support Organization)」が、講座の講師や大学キャンパス案内などで生徒の探究活動をサポート。



オンライングローバルラーニング交流会



大学教員による専門的な指導



全国高校生フォーラム



大学や研究機関を見学

探究活動の概要

高校各学年の探究活動は、毎週木曜日の「総合的な探究の時間」に行っています。

1年生の「国際探究」では、SDGs(国連が掲げる持続可能な開発目標)をテーマとして、持続可能な社会に向けてグローバル課題の解決策を提案する研究活動を行います。多様な講座を通してSDGsについての基礎的知識と課題意識を学び、合わせて基本的な探究のスキルを身に付けていきます。夏休み以降は、自身の関心に基づいて研究テーマを定め、グループを編成して研究活動を行います。フィールドワークを通して課題の実態や背景を調査して解決策を考案し、2月に全グループが発表を行います。

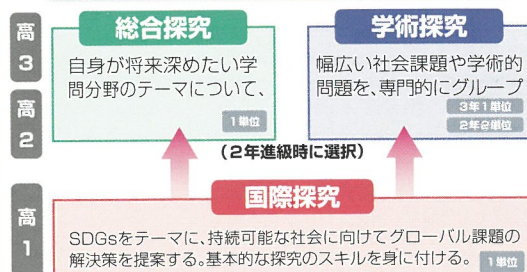
高校2年生からは、2種類のコースから1つを選択し、それぞれ高校3年生まで継続して探究を深めます。

「総合探究」コースでは、自身が将来学びたい学問分野や、仕事にしたいことについて、個人でテーマを定めて研究を行います。活動は、同じ学問分野を学ぶ生徒同士で協働して進めます。研究成果を発表し合い、質疑応答を通して互いの学びを深め合います。

「学術探究」コースは、1クラスのための選抜コースです。幅広い社会課題や学術的問題をテーマとして、グループで研究します。高2では週2時間実施し、大学教員の指導も受けながら、より専門的に研究を進めます。また、関東圏の研究機関や大学等を訪問視察するアカデミックツアーを行います。高2の秋には公共ホールを会場に、研究成果を英語でプレゼンテーション発表する公開成果発表会を実施します。その後、研究成果を論文にまとめるとともに、高3では、地域の社会人に研究成果について意見交換する実践的な活動を行います。

「総合的な探究の時間」に行う探究活動

現代的諸課題の解決と学術の研究 ～ふるさとや世界に貢献するグローバルリーダーへ～



国際交流・グローバル教育

英語力を向上させ、多様性への理解を深める

本校では、グローバルな課題に関心を持ち、その課題にしっかりと向き合い、解決に向けて取り組むことのできる「グローバルリーダー」の育成を目標に掲げています。そのための活動として、海外修学旅行や海外生徒との交流、留学生の受け入れなど、多様な国際交流の機会を設けています。また、本校勤務のALTによる「ALT料理講習会」など、日常の学校行事の中にも国際交流の機会があります。

令和6年度は、海外の高校に1年間留学した生徒の帰国報告会や海外の大学に進学した先輩による語学講座なども実施しました。



マレーシア マラ工科大学交流



ALTの先生との料理講習会

生徒会長よりメッセージ

中部部 生徒会長 小林 清歌



南高中等部での生活は、あらゆる面で私達を成長させてくれます。授業では先取り学習やICTを活用した学習、中部部独自の教科であるJ Eコミュニケーションやクリエイティブ・サイエンスなどを通して、単なる知識だけでなく、「考える力」「伝える力」「学び続ける力」を身につけることができます。また、

中高一貫教育校であるこの学校は、その特徴を活かし、文化祭や運動会などの行事が中高合同で開催されるので、学年の垣根を越えて絆を深めることができます。さらに本校では、「独立自尊」という校訓のもと、勉強や部活動、課外活動の両立をしながら能力を高めることができる環境が整っています。ぜひ皆さんも、この学校で高い志を抱く仲間と出会い、日々切磋琢磨しながら、充実した学校生活を送りましょう。

卒業生よりメッセージ

東京大学 文科一類1年 原田 寧々

(令和6年度卒)



秋田南高校中等部、秋田南高校で過ごした6年間は、毎日が新しい学びと成長の機会に溢れていました。親身になって生徒の進路実現を支えてくださる先生方や高い志を持ち互いに高め合うことのできる仲間に出会えたことが、主体的に学ぶ姿勢を身に付けるきっかけになったと思います。特に探究活動では、興味・関心のあるテーマについて先生方や大学教員の方からアドバイスを受けてグループで議論を重ね、のびのびと自由に、かつ課題発見力や論理的思考力といったスキルを鍛えながら探究を進めることができ、非常に思い出深いです。大学生になった今でも、このときの経験や得た能力がとても役に立っています。この恵まれた環境で6年間を過ごせたことは、私にとって至上の幸福であったように思います。

高校 生徒会長 吉田 理



私達南高生は「独立自尊」の校訓のもと高いレベルでの文武両道を目指し、学校生活を送っています。昨年度は男子バスケットボール部、水泳部、アーチェリー部がインターハイ出場、文芸部、放送委員会が全国高等学校総合文化祭出場を果たしました。また、留学生の受け入れなど

国際的な交流も盛んです。修学旅行では中高ともに国内と海外の2つの選択肢から自分の興味に合わせて行き先を選ぶことができます。中高一貫校という特色を活かし、秋南祭や運動会は900人を超える中高生によって大規模に行われます。他にも、入学式や卒業式など様々な行事が中高合同で行われます。このように本校では中高一貫教育校ならではの魅力に溢れています。ぜひ皆さんも本校での学びを通して、仲間たちと互いに成長しあい、充実した学校生活を送ってみませんか。

北海道大学 総合理系1年 加藤 巧哉

(令和6年度卒)



秋田南高校は、高いレベルでの文武両道を実現することが可能な学校です。部活動では、かけがえない仲間たちと上位進出を目指すことで最高の思い出を作り、学習面では、先生方の手厚いサポートのおかげもあり自身の進路目標を実現することができました。それに加え、すべての学校行事で盛り上がりを見せ、大

学生活では味わえない、何かを全員で作ったという達成感がありました。自分が進路実現をすることのできた要因は、先生方との面談を通して、どのような方針で学習を進めていくかを明確にできたことだと思います。自分のやるべきことが分かればそれを全力で遂行するだけなので、大きな不安を感じることもなく勉強を頑張ることができたと思います。高校生活の3年間というのは、皆さんが思っているよりあっという間です。毎日かけがえないものとし、一生忘れられないような3年間を過ごしてください。

部活動 生徒会活動

「文武両道」。学業と部活動及び生徒会活動の両立を実現するのが本校の特色です。

部活動や生徒会活動を通じて豊かでたくましい心身の育成と良好な人間関係を築くことで、昨年度は、男子バスケットボール部や水泳部、アーチェリー部のインターハイ出場、吹奏楽部が全日本吹奏楽コンクール銅賞、文芸部や放送委員会も高校総合文化祭に出場するなど輝かしい成績を収めました。硬式野球部や剣道部、サッカー部も県内の大会で上位進出を果たしています。中等部、高校それぞれの生徒会が協力しながら秋南祭や運動会などの学校行事で活発に活動しており、校内に活気が満ちあふれています。

高い志を持つ南高生は文武両道を実践しながら、難関国公立大や、医学部、難関私立大などの第1志望校合格を果たしています。



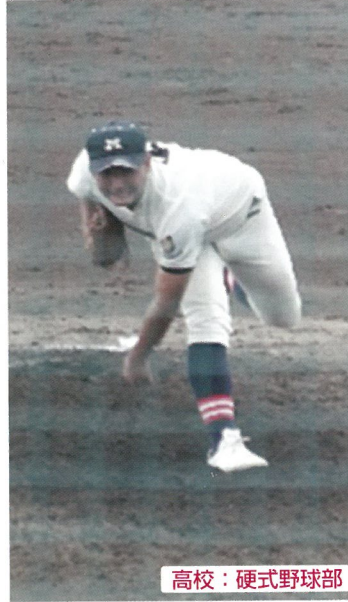
中等部：剣道部



中等部：ソフトテニス部



中等部：陸上競技部



高校：硬式野球部



高校：男子バスケットボール部



高校：サッカー部

部活動

【中等部】

運動部：陸上競技部 サッカー部

男子バスケットボール部 女子バスケットボール部

ソフトテニス部 硬式野球部 剣道部 柔道部

文化部：吹奏楽部 自然科学部 日本文化部 美術部

【高校】

運動部：陸上競技部 サッカー部 ハンドボール部

男子バスケットボール部 女子バスケットボール部

バレーボール部 バドミントン部 山岳部

ソフトテニス部 硬式野球部 水泳部 剣道部

柔道部 アーチェリー部

文化部：文芸部 演劇部 自然科学部 吹奏楽部 書道部

美術部 写真部 茶道部



高校：書道部



高校：吹奏楽部



応援委員会



(全国大会出場)



秋田県立秋田南高等学校

創立 昭和37年4月13日

課程 全日制／普通科

生徒数 687名

卒業生数 22,206名



秋田県立秋田南高等学校 中等部

創立 平成28年4月1日

生徒数 240名

卒業生数 398名

所在地

〒010-1437

秋田市仁井田緑町4-1

「JR羽後牛島駅より徒歩10分」

TEL 018-833-7431

FAX 018-833-7432

URL [https://akitaminami-h.](https://akitaminami-h.wixsite.com/akitaminami)

wixsite.com/akitaminami

E-mail akitaminami-h@akita-pref.ed.jp